



3 コミュニティネットワーク・宝（南区）

地域自主防犯活動活発化促進事業

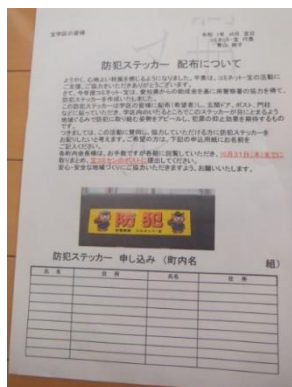
実施結果報告書

1 団体名	コミュニティネットワーク・宝
2 事業名	安心・安全で住みよい街・宝 PARTⅢ
3 事業実施結果	<p>今回の住宅対象侵入盗対策事業では、過去2回（平成22年度・24年度）の防犯意識を高める活動をさらに大きく発展させたものを目指し実施してきた。</p> <p>数年たち地域住民の意識が薄れてきた反面、住宅対象侵入盗・自動車盗・自転車盗などの犯罪が若干であるが増加傾向になった。再度、地域（学区）全体と前回にはなかった近隣地域への活動を拡大していきたいと考え応募した。</p> <p>今回の実施内容としては、主に下記の4点である。</p> <ol style="list-style-type: none">1 以前作成した門扉・ドア・ポストに貼るタイプのステッカーを新調して配布する。2 南警察署生活安全課の方による防犯講演会を開催するため、地域住民に参加者を募集する。また、学区独居高齢者給食会・高齢者サロンなどの集まりにミニ講演会として参加して5分程度の話を行う。3 年内最後の年金支給日に、金融機関の前で生活安全啓発運動を行う。4 広報誌の発行も町内会を通じ今回の事業では3回発行する。 <p>各取組の内容</p> <ol style="list-style-type: none">1 ステッカー作製 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"><div style="text-align: center;"><p>前回作製のもの</p></div><div style="font-size: 2em;">⇒</div><div style="text-align: center;"><p>今回作製のもの</p></div></div>

ステッカーは南警察署の協力を得て、県警のマスコットキャラクターを使用し、「南警察署・コミネット宝」と文字入れ4,000枚を作製した（前回は警察官のイラスト）。大きさは同じではあるが、縁取りをとることで大きく見え目立つデザインとなったように思える。

それとは別に同じデザインで天白警察署と文字入れをしたものも1,000枚作製した。

学区では広報誌を通じ、当初、賃貸住宅等で貼ることができない世帯も出てきたため、全戸配布が無理であると判断したため希望者に配布した。数町内は全戸配布ができるとのことで、まとまった枚数をお願いすることができた。



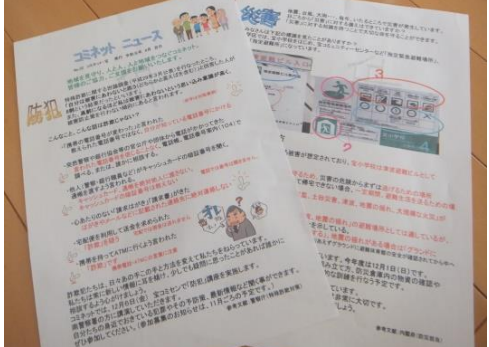
ステッカー配布の広報誌
学区全体に回覧

南区の他の二学区の区政委員長にもお会いできる機会があり、趣旨を説明してそれぞれ500枚を提供。年末イベントに参加した時に区役所関係の方々にも手渡しできた。近隣学区にも、活動を広げることができたように思える。

学区内でも配布した世帯の門扉等に早々に貼ってもらっているのを確認した。

2 防犯講演会・ミニ講演会の開催

12月6日（金）、南警察署生活安全課の方による防犯講演会を開催するため、広報誌で学区全体に回覧で参加者を募集。



防犯講座参加者募集案内

広報誌・防犯講演会開催告知

防犯講座の内容は侵入盗の手口の紹介。「光」「音」「時間」「地域の目」はドロボウが嫌い、組み合わせると効果が得られる。今すぐできる「見通しをよくする」「足場となるものを置かない」「夜間等に不在を知られないようにする」等の対策を解説し、グッズを活用したものとして、「補助錠」「防犯ガラス」「防犯砂利」等を紹介した。

さらに特殊詐欺の最新の手口等を、実演を交え楽しく・面白く講演していただいた。

○会場：宝コミュニティセンター

○参加者：35名



補助錠（講演会参加者へ配布）



補助錠取り付け画像（窓上面）

3 生活安全啓発運動

12月13日（金）、学区内の金融機関前で防犯・詐欺の注意喚起を呼び掛ける啓発運動を実施。（毎年末は啓発運動を実施）

南警察署・南区役所の方々と住宅対象侵入盗対策・詐欺手口のチラシとグッズを配布した。

顔見知りの方も多かったので、年末の忙しい中だが好意的に受け取ってもらえ、話もしっかり聞いてもらえた。



4 広報誌の発行

今回の事業では3回発行した。2回は講演会参加者募集・ステッカー希望者募集といった内容であった。

本来のコミネットの活動は、講演会や広報誌により、情報の共有を目的としたものであり、防犯・防災・詐欺・交通など多岐にわたる。

短期間のため参加者や希望者を募る内容が多かったのは残念であるが、今回の事業に対する詳細については後日発行をしたいと考えている。

4 成果と課題 及び今後の 取組み

(1) 事業実施の成果及び課題

ア 成果

- ・環境（地域との結びつき）の整備

事業を実施するうえで大切なことである。学区と関わり20年、多くの方に顔を知ってもらい、声をかけると耳を傾けてもらい、協力もしていただき何回かの事業も好意的に受け入れてもらってきた。今回も講演会・啓発運動では成果はあったように思える。

- ・地域、近隣との連携

地域はもちろんのこと、警察や区役所が行う講演会・イベント等に参加して近隣の委員長、企業の方々と顔見知りになることも大切である。

また、近隣地域と結びつくことで広域での犯罪の内容、傾向などの情報交換ができ、力を借りることができるので重要である。今回、事業内容に耳を傾けてもらい、ステッカー配布の協力をしていただいた。

イ 課題

講演会に参加・協力してもらったのは、50歳以上の方が多かった。学区内には高齢世帯が多く、次世代の担う人材がなかなか育たないのが実情である。

どのように取り込んでいくかが今後の課題となる。

(2) 今後の取組み

- 1 サロン・給食会でのミニ講話の実施。
- 2 定期的に広報誌を発行。
- 3 生活安全啓発運動の実施。
- 4 学区の行事において短時間でも防犯等の話をしていき、若い世代に訴える。

以上を大きな柱として、犯罪にあわないよう情報を共有させて、意識を向上させていきたい。